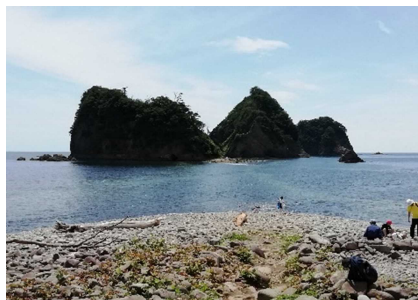
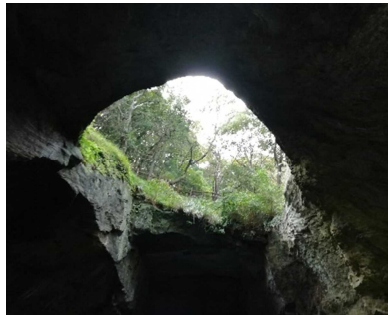


実績報告書 (4 頁程度を目安に作成してください。)

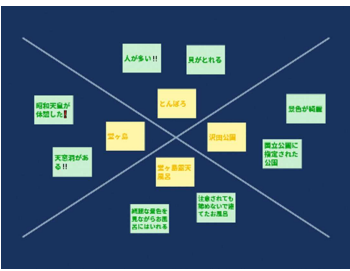
西伊豆の美しさをいつまでも ～わたしたちにできること～	実施学年： 6 年 児童数： 14 人（1 学級） 実施教科等： 総合 実施時間数： 時間
実施／参照プログラム	No. 1 1 地域景観プランナーになろう

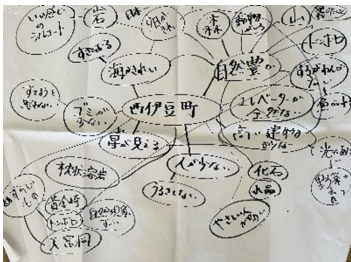


●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	● 自分たちの住む西伊豆町の美しさや価値に気づき、その美しさを守るため、多くの人々に知ってもらうために自分たちには何ができるのか考え、実践する。
学 習 活 動	● フィールドワークなどを通し、西伊豆町の景観の良さを改めて実感する。 ● 魅力を伝えるための方法を考える。 ● ICT 機器を活用するなど、それぞれの方法で魅力をまとめる。 ● この先も町の良さを大切にしていけるために、自分たちができることを考え、実践する。 ● 自分たちの実践を校内や、保護者などに伝え、成果と課題を考える。
準 備 品	● 静岡県景観まちづくり学習の手引き ● ipad、デジカメ、模造紙、画用紙、マジック ● プリンター、ラミネーター
実 施 場 所	● 教室 西伊豆町の各名所

●学習の流れ (適宜行を増やしてください)

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	教室	・オリエンテーション 「Youは何しに西伊豆町へ」 というタイトルで、ジオガイドに町内の魅力ある場所を写真付きで紹介してもらった。		○美しい写真を目にし、「こんなところが西伊豆町にもあるんだ」と驚いた。 ○実際に訪れてみたいという意欲をもつことができた
1 時 間	教室	・年間に訪れる観光客の数などを知り、西伊豆町の魅力について考える。 ・「景観」という言葉を学習し、西伊豆町の魅力的な景観について学習していく見通しを持たせた。		○テーマについての関心を高めた。
1 時 間	教室	・伊豆半島の成り立ちとそれによって作り出された西伊豆町の特徴的な景観についてジオガイドに話をしてもらった。		○伊豆半島は火山やプレート の働きによって今の形になったことを初めて知り、驚いた。 ○美しい景観が西伊豆のでき方と関係があることに気付いた。
7 時 間	堂ヶ島 浮島 沢田公園 黄金崎 一色	・西伊豆町の名所を巡るフィールドワークを行う ・実際にその場所に出向き、その場所のでき方や、観光客に人気の理由を教えてもらった。		○それぞれの場所で、どんな良さがあるのかを知り、興味を深めた。 ○「すごい」「きれい」など実際に本物を見て感じた驚きが多くみられた。
1 時 間	教室	・これまでめぐってきた場所をもとに、自分が気に入った場所を選んで紹介した。		○ここまで学習したことをもとに選ぶことができたが、良さを詳しく説明できない子も多かった。

	場所	概要	活動記録	児童の反応
3 時 間	教室	・修学旅行で行ってきた東京と、これまで学習してきた西伊豆町を比べ、良さや課題点を探した。		東京と比較した際の西伊豆町の良さについて具体的に説明できるようになった。
1 時 間	教室	・西伊豆町をアピールする目的で作成された地域発信型映画「お屋敷の神様」を鑑賞した。 ・ロケを積極的に受け入れる「ロケサポ西伊豆」について、活動の目的や取り組み、携わっている方の思いを話してもらう。		○ 町外の人から見た、西伊豆町について知ることができた ○ 西伊豆町の魅力を発信している人の存在やその思いを知ることができた。 ○ 西伊豆町の人、町外の人々が西伊豆町を盛り上げようとするのを見て、自分たちもこのままでいいのか考えるきっかけになった。
1 時 間	教室	・町内の「地域の未来予想図」を活用し、将来想定される人口減少などを知った。		○ ここから数年後で西伊豆町の人口がどんどん減少する予測に驚いた。 ○ 「美しい景観も守っていき人がいなくなってしまう、未来に残せない」と危機感をもった。

5 時 間	教室 海岸	- これまで学んできた西伊豆町の魅力を未来につないでいくために、良さを伝えたり、良さを守ったりする方法を考え、実行する。 - 海岸にゴミ拾いに行く。 - 西伊豆町の魅力を伝えるためのクイズを作成し、全校でクイズ大会を行う。 - 西伊豆町の名所をモチーフに作成したゆるキャラのしおりを作成し、クイズ大会の参加者に配付する。	 	○これまで教えてもらうことが多かったが、自分事となり、意欲が高まった。 ○どんなことをやったらいいか自分たちで考えを広げることができた。また、「こんなことができますか?」「〇〇をしたいと思います。」と進んで提案する姿が見られた。 ○活動を通して、全校にも西伊豆町の良さを知ってもらう機会にできた。
1 時 間	教室	これまで学んだ西伊豆町の魅力と自分たちの活動の報告をした。(保護者、景観まちづくり関係者)		○見に来てくれた人に「魅力を知ってもらいたい」という意識で発表することができた。 ○自分たちの活動について多くの人に賞賛していただけて自信になった。 ○発表の準備をしていく上でさらに詳しく調べたり、考えたりしたことで西伊豆町の良さへの理解や愛着が高まった。

●児童の作品 (写真や図にはキャプション(説明)を添えてください。)



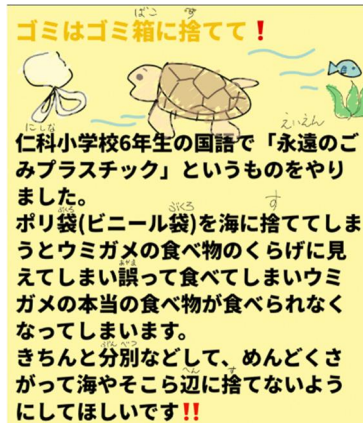
Q1 天窓洞は太陽の光が入ると何の形になる?



- ☐ 星の形
- ☐ ハートの形
- ☐ 富士山の形
- ☐ 人形の形

学んだことを使って全校クイズ大会を行った。

西伊豆町の名物をモチーフにしたオリジナルゆるキャラを作成。しおりにして配った。



海のきれいさをを守るためポスターを作成し、ポイ捨て禁止を呼び掛けた。

●先生の声

【実施にあたり工夫した点・苦労した点】 ● 県の指定とはいえ、子どもたちが自分たちの課題にしないと学習する意味がないため、「景観」というテーマをどう子ども達と出会わせるのが難しかった。 ● ただ、教えてもらったり調べたりしたことを発表するだけでなく、「自分たちも貢献する」「自分たちでさらによくする」という思いをもってアクションを起こすところまで実行した。 ● フィールドワークが学習を進める大きな要因となったが、外部講師との連絡調整やバスの手配などを天候の様子を伺いながら進めなくてはならず、予想以上に時間と労力がかかってしまうことがあった。 ● 西伊豆町の良さを広げようとしている役場の方や、連携している外部の人の話を聞く機会を設けた。ここで聞いたことが、自分たちにも何かできるか考えるときのヒントとなった。 ● 事前の学習会で「景観」には広い意味があることを理解できたが、学習を進めていく上で「なんでもあり」になってしまいそうで、「美しい景色を知り、守ろう」という狭い意味で捉えた学習になってしまったかもしれない。	【児童の反応】 ● 郷土の良さを学習前に比べて具体的に語れるようになった。 ● 今まで何気なく見ていた景観について、知り、考えることで興味を持つようになった。 ● 自分たちにできることを意欲的に考え、行動した。 【教師の変化】 ● 高学年の子どもたちにこそ「ふるさとして素晴らしい」という気持ちを持たせたいという思いが強くなった。高学年だからこそ自分たちで考えて行動を起こせることが多いと思う。 ● 何よりも現地に足を運んで、本物と出会うことが一番の感動につながることを改めて実感した。また、そこで自分だけの尺度で見るのではなく、ガイドさんの話や観光客の感想などによって、より素晴らしさを実感することができるとわかった。
--	---